

令和7年度
「電波の日・情報通信月間」
記念講演会

5月30日(金)
14:00~15:30
オンライン開催 (Webex)

先着
200名

参加費
無料

申込期限
5/25

主催：関東総合通信局 関東情報通信協力会

デジタル技術の新しい時代における新しいインフラ 「データスペース」：その現状と展望

講演内容

本講演では、2020年代以降の新しい時代における新しいデジタルインフラとしてのデータスペースの現状と展望を述べる。データスペースは、信頼性あるデータ流通の基盤として注目されており、データ主権・信頼性・相互運用性・平等性などを重視する理念や、連邦型アーキテクチャの技術的特徴がある。欧州GAIA-XやIDSAの事例、日本国内のDATA-EXやウラノスエコシステム、JMDS (Japan Mobility Data Space) などの実践例を取り上げ、その構想や機能、更に分野を超えたデータ連携の重要性を論じる。また、東京大学が主導する国際テストベッドの取り組みにも触れる。

講師紹介

東京大学大学院 情報学環 教授

越塚 登

1994年 東大院 情報科学専攻 修了、博士(理学)。東工大助手、東大助教授・准教授を経て、2009年より現職。一般社団法人データ社会推進協議会会長、一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム理事長、JEITA Green x Digitalコンソーシアム座長、気象ビジネス推進コンソーシアム会長、デジタル化横展開推進協議会共同代表、など、さまざまな領域の研究と事業推進に携わっている。コンピューターサイエンスを軸に、近年はIoTやデータスペース、スマートシティなどの研究・開発・社会実装に取り組んでいる。



申し込み方法(以下の「URL」又は「二次元コード」からお申込みください)

申込サイト | 関東総合通信局ホームページ

https://www.soumu.go.jp/form/shingi_kentou/application.php?id=000181130

お問合せ先 | 総務省 関東総合通信局 企画課

E-mail: kanto-event@soumu.go.jp

